

平成31年 萩市議会3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	13	西 中 忍	3月5日午前
2	2	小 林 富	
3	14	長 岡 肇太郎	午後
4	10	美 原 喜 大	
5	5	村 谷 幸 治	
6	12	関 伸 久	3月6日午前
7	18	宮 内 欣 二	
8	7	石 飛 孝 道	午後
9	4	松 浦 誠	
10	3	瀧 口 治 昭	
11	9	松 浦 俊 生	3月7日午前
12	15	中 野 伸	
13	8	佐々木 公 惠	午後
14	1	浅 井 朗 太	
15	6	五十嵐 仁 美	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 子どもを守る市の姿勢と児童相談所との連携は	<p>1. 本年1月、千葉県野田市で、両親から虐待を受けた小学4年生の女児が死亡するという本当に痛ましい事件が発生し報道されました。</p> <p>このように痛ましい事件は後を絶たず、虐待で死亡した子どもの数は平成28年度中に全国で49人もおり、その多くが0歳児だという報告が出されています。</p> <p>また、虐待を加えた加害者は、実父・実母が多いというデータもあります。</p> <p>さらに、全国の児童相談所が虐待相談で対応した件数は年々増加し続け、平成29年度の速報値では、13万3千件を超えるという状況になっています。</p> <p>このような状況の中、萩児童相談所も例外ではなく、300件を超える虐待等の相談が寄せられています。</p> <p>児童相談所には、相談児童の措置権等の権限があることから、相談対応や措置等は、児童相談所が責任をもって行うことだと思います。</p> <p>しかし、様々な問題で児童相談所へ相談に行く方々は、市民だということから、市としてもこのような方々の状況を把握した上で、継続的に関わりを持つ必要があるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、市として問題を抱える子どもやその家庭を取り巻く環境等についてどの程度把握し、児童相談所とどのように連携を取っているかお尋ねします。</p> <p>さらに、子ども達が虐待などの痛ましい事件に巻き込まれないようにするため、市としてどのような対策を行い、どのような姿勢で関わっていこうと考えているかお尋ねします。</p>		
2. 交流人口を増加させて地域活性化を図るために	<p>1. 地域活性化の手段の1つに交流人口の増加が挙げられています。市では観光施策等に力を入れ、観光客等の交流人口の増加を目指していますが、交流人口を増加させる方法</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>は観光だけではなく、地域の特徴を生かした多面的な取り組みが必要だと思います。</p> <p>そして、その特徴の1つに私は、全国的にも珍しいと言われている川上地域にあるカヌーコースがあるのではないかと思います。そこで、このコースを活用した大会や合宿の誘致等にさらに力を入れることで、交流人口を増加させることができるのではないかと考えていますが、市としてどのように考えているかお尋ねします。</p>
<p>3. 引きこもり等で社会参加が難しい方々へどのようにアプローチすれば良いのか</p>	<p>1. 昨年12月定例会の補正予算で、障がいを持ち引きこもりがちな方々を対象に外出を促す新たな事業が予算化され、今年から事業が実施されていますが、この事業は障がい者が対象になっていることから、そうでない方々へは対応が出来ません。</p> <p>しかし、障がい無くても引きこもりがちで社会参加が難しい方や、何か問題を抱えていても、外出が難しいために病院に行くこともできず、診断を受けることができない方もおられます。</p> <p>私は、障がいの有無にかかわらず引きこもり等で社会参加が難しい方々が社会へ関りを持ってもらうため、行政・民間が一丸となってアプローチしていかなければいけないと思っています。</p> <p>そこで、先ほど申し上げた事業の実施状況と、今後、現在実施している事業を足掛かりとして、引きこもり等で社会参加が難しい方々を対象とした取り組みを行う考えがないかお尋ねします。</p> <p>あわせて、このような方々へアプローチを行うにあたって、重要なことは何だと考えているかお尋ねします。</p>

質問順位	2	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 厳しい財政状況下において持続可能な財政運営をすべきではないか	<p>1. 財政の大きな割合を占める人件費の削減計画である萩市職員定員適正化計画は現在、未達となっています。</p> <p>職員定員適正化計画に定められた定員数削減、組織のスリム化、業務の集約などは緊急性が高いと思います。</p> <p>現在、人口は減少しているのに部署数は一時期より増加、そして、定年後の再任用職員数の増加などにより人件費は増加傾向となっています。</p> <p>今回の当初予算では、予算総額が昨年よりも減少しているにも関わらず人件費は上昇しており、今後、更なる財政悪化や新規採用などにも影響が出るのではないかと危惧していますが、市長の見解をお伺いいたします。</p>		
2. 須佐駅前「いかマルシェ」計画は「須佐男命いか」を十分にPRできる内容となっているか	<p>1. 須佐駅前に計画されている「いかマルシェ」では須佐の特産品である「須佐男命いか」が水槽により展示、販売をする施設となっており、市外からの集客および一次産業振興に大きく寄与するのではないかと期待しております。</p> <p>一方で、計画の本来の目的である「須佐男命いか」のPRについては、水槽による展示スペースが小さいのではないかと、「須佐男命いか」が透明で狭い水槽で展示されることでストレスによる共食いなどは大丈夫なのかなど検討段階で議員からも不安の声が出ました。</p> <p>萩の一次産業が最大限PRされる内容とすべきだと考えますが、市長の見解をお伺いいたします。</p>		
3. 旧明倫小学校3号棟・4号棟について建物活用の具体的な方法を早期に検討すべきではないか	<p>1. 旧明倫小学校3号棟・4号棟については、これまでに市民の皆さまへ意見を聞く場を2回アンケートという形で設けています。</p> <p>1回目は市民が自由にアンケートへあり方だけでなく、活用案なども記入、約80%が建物活用に向けた意見で多くのアイデアをいただき、今回2回目は無作為抽出によるアンケートを実施しました。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>2回目のアンケート結果は、①建物活用17%、②建物活用・現状保存22%、③現状保存19%、④解体・跡地活用（文化財発掘調査あり）9%、⑤解体・跡地活用（文化財発掘調査なし）33%となりました。選択肢の中では⑤が最も多いものの、活用および現状保存である①および②を合わせると39%となり⑤を上回っています。</p> <p>2回目のアンケートは、想定による初期費用および維持管理費が記載されているものの、既存の明倫学舎との一体管理による経費削減などは検討されていないこと、活用方法については複数の案を示すだけとなっていること、また、活用案として市民の皆さまから意見のあった事業者への賃貸、住民憩いの場や集会、コミュニティ施設としての貸しスペース、協働する市民団体などへのシェアオフィスや事務所としての賃貸などによる収入面の記載がないことなどから、2回目のアンケート内容は判断材料として十分ではなかったと感じています。</p> <p>この問題については既に長期化しており、若年層の関心も高いため、具体的な建物活用について、早期に、かつ、詳細に検討することが事業の成功だけでなく初期費用および維持管理費用の合理化や削減につながると考えていますが、これまでのアンケート結果を踏まえた市長の見解をお伺いいたします。</p>

質問順位	3	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 教育行政（食育教育）	1. 朝食をとらない児童の増加 (1) 食育推進計画について (2) 家庭等との連携と指導について		

質問順位	4	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 平成30年度産業再生活性化事業(新規単独費分)の評価を如何に考えていますか。	1. 平成30年度事業において産業再生活性化事業(人材育成事業・萩維新ふるさと企業説明会開催事業等新規単独費分事業約3千万円)について、その成果を総合的に判断して、どう感じておられますか。		
2. 高校生医療費無料化の評価は如何にありますか。	<p>1. 無償化する理由は何ですか。子育て支援でもって、萩市は子どもを生み・育てやすい環境づくりとなり、出生数・転入等に影響が出る兆しがありますか。</p> <p>2. それは萩の町の問題解決に繋がっていますか。</p> <p>3. 無料化することが暮らし満足度NO.1の町づくりですか。</p>		
3. 道の駅ゆとりパークたまがわの継続性について	<p>1. 現状を把握されていますか。</p> <p>2. 市民に損害を与えることとなりはしませんか。</p>		
4. 市報について	1. 市報を月1回にされた後の検証として、アンケートを実施される等、市民の意見を聞かれるお考えはないですか。		
5. 各種証明書コンビニ交付事務事業の拡大について(提案)	1. 本年度よりこの事業の取組をされますが、直ぐでなくても道の駅にも同様の交付事務事業を実施してはどうですか。		

質問順位	5	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市内県立高校の魅力化について	1. 中学生に対する「萩市内高校の魅力化アンケート」の内容及び結果について 2. 魅力化の1つと考えるサッカー部新設のお願いに対する市の協力姿勢について		
2. 萩城跡内堀の「池の水ぜんぶ抜く大作戦」活動への協力について	1. 萩市の支援について 2. 調査後の今後の取り組みについて 3. 指月公園内の池について		

質問順位	6	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 今年度の決算見通しと来年度予算における事業展望について	<p>1. 去る2月3日に指月公園で行われた観光開きで昨年の観光客数が発表された。明治維新150周年の記念すべき年、そして萩版観光DMO体制2年目を迎えた今年度は、萩市観光協会への補助金をこれまでの約6,000万円から約1億4,000万円とし、果敢な投資をしたにもかかわらず、観光客数は前年比約5%減となった。</p> <p>各事業者にヒアリングをしているなかで、実態はそれ以上に悪いとの声を多く耳にしている。</p> <p>来年度予算においても萩版DMO推進事業に約5,047万円を投下するなど継続して多額の予算配分を行う予定である。(平成30年度は約7,021万円)</p> <p>平成30年9月定例会の一般質問でも申した通り、観光は多額の予算を必要とせずとも振興可能な事業領域である。これだけの投資を行うのは、どのような効果を期待してのことか。そして今後の萩市の観光にどのような展望、ビジョンを持っているのか、市長の考えを訊く。</p> <p>次に来年度予算で新たに実施されるビジネスチャレンジサポート事業約1,794万9千円について訊く。これは先の12月定例会で旧明倫小学校3号館、4号館の活用案に示された中小企業支援機能のことか。事業実施場所、人件費の内訳、期待する役割・効果等について訊く。</p> <p>最後に萩市の財政見通しについて訊く。来年度も財政調整基金をはじめとした基金約21億円を取り崩す予定である。予算ベースではあるがこれにより基金残高は平成29年度末の136億8,996万3千円から97億8,500万7千円と大幅に減少する見込みである。</p> <p>今年度も予算ベースで約24億円もの基金を取り崩して財政運営にあたっている。今年度が終わろうとしている今、足下の決算見通しはどうか。速報値を示して欲しい。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>今年度決算の着地が大幅な赤字見通しになるのであれば、来年度予算の審査にあたり、これ以上の基金の取り崩しは看過できない。税収は保守的な予算を上回る水準を確保できるのか、地方債の発行状況、地方交付税の推移等についても訊く。</p>

質問順位	7	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. イージス・アショア迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<p>1. 適地調査の電波環境調査、水質調査、土質調査、自然生態調査についてどう考えるか。その結果をどういう観点で判断するのか。</p> <p>2. 市長は地元自治体の首長として、どのように情報収集しているか。何に注目しているか。</p> <p>3. 市長の見解を表明する時期はいつか。</p> <p>4. 市長の判断で最も重視することは何か、再確認する。</p>		
2. 旧明倫小学校校舎3棟・4棟の方針について	<p>1. アンケート結果を見て、どのように分析し判断するか。</p> <p>2. 結果を総合的に判断するということだが、アンケート結果を覆すこともあるということか。最も多かった第5案以外になることもあるのか。その場合、第5案を選択した人の意思を無視することになり、行政への不信感が生まれるがどう対応するか。</p> <p>3. 5つの案以外の選択肢はないということだったが、間違いないか。</p> <p>4. 活用するとしたら寄付された4億円を財源にする考えはあるのか。</p>		
3. 萩市の医療水準の向上について	<p>1. 萩市の医療水準の向上が喫緊の課題になっている。萩医療圏域に住んでいると、助かるいのちも助からない。他所の町なら助かる事例も、萩医療圏では命の保証がないと言われる現状を認識しているか。</p> <p>2. その現状に対しどこに原因があり、どのように対応し、対策を考えているか。</p> <p>3. 拠点病院整備はどこまで協議が進んでいるか。</p> <p>4. 地域医療構想への対応はどうなっているか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
4. 音声文字化ソフトの導入について	<p>1. 人工知能A Iを活用した、音声文字化ソフトが実用レベルに達している。スマホアプリとして、手軽に利用でき、活用方法の可能性が広がっている。この活用を進める考えはないか。</p> <p>2. 聴覚障害者、高齢化社会への活用</p> <p>3. 外国人への同時通訳としての活用</p> <p>4. 会議録作成など、書記機能としての活用</p>

質問順位	8	質問者	石飛孝道議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩港を活用した滞在型観光について	1. インバウンドをいかした、萩港の利用について 2. 観光バスを用いた、ハブ港としての利用について		
2. 廃止になった越ヶ浜駐在所の利用について	1. 地域の福祉活動の拠点としての利用はできないでしょうか。		

質問順位	9	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. インターネット依存症について	1. ネット依存の現状把握について 2. ネット依存者を出さない為の市の取り組みについて		
2. 海岸漂着ゴミ・海洋ゴミの対策について	1. 海岸漂着ゴミ・海洋ゴミの回収・処理・発生抑制の対策について		

質問順位	10	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 第3セクターの取り扱いについて	<p>1. 昨年、6月、12月のそれぞれの定例議会の一般質問の場において第3セクターであります(有)グリーンファーム旭と(有)アスクむつみとの統合の計画を市の方針案として、述べられましたが、本年になり具体的に会議が進められている中、受益者である地域、特に旭地域において、統合に対する拒絶とも言える反対意見が多く出ています。昨年6月、12月の市よりの答弁においては、受益者、関係者には十分な説明と理解を得た上で進めていくとの事であったと記憶しております。現段階で受益者である住民の反対意見が大変強い中での統合実施は困難であると思えます。統合案については今一度計画変更、見直しが出来ないものかお聞きします。</p>		
2. 市職員の研修について	<p>1. 近年、市においては定年により多くの退職者が発生し、補うために新規雇用者の採用がされ、即戦力としての活躍が当然のことながら期待されますが、市職員としての教育、研修は今現在どのようになされていますか。</p> <p>また、新規職員だけでなく、他の職員については、どのような研修の機会がありますか。先進事例や自治体間での競争も厳しくなる中、今後知識と多くの情報を兼ね備えた市職員の育成が必要と考えますが、市は人材育成について今後どういう考えを持っていますか。</p>		

質問順位	11	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 下水道事業について	1. 下水道の整備状況（整備率）について 2. 下水道の普及率について 3. 下水道の水洗率について		
2. 地籍調査の実施について	1. これまでの地籍調査の状況について 2. 現在の地籍調査の状況について 3. 今後の地籍調査の計画について		

質問順位	12	質問者	中野 伸 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩版DMO推進事業について	1. 萩版DMO (デスクティネーション・マネジメント・オーガニゼーション) 地域の稼ぐ力による観光地経営、地域づくりの評価について問う。		

質問順位	13	質問者	佐々木 公恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市民参画で公共インフラをチェックできる取り組みを	1. 公共インフラの維持管理に対する取り組みの現状は 2. アプリケーション活用で道路補修など市民参画の取り組みを		
2. 高齢者支援について	1. 介護予防・日常生活支援の充実について 2. 介護保険外サービスの活用について		

質問順位	14	質問者	浅井朗太議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 施政方針・基本ビジョンにある持続可能な農業について</p>	<p>1. 萩市において、観光業と並び重要な成長産業と位置づけられる一次産業。施政方針ならびに基本ビジョンにある「持続可能な農業」について、担い手の継続的な確保による事業継承性という意味と合わせて、一般的に言う所の「環境・自然に配慮した循環型農業」という意味合いを持たせるお考えはないか改めてお尋ねします。</p> <p>2. 農・漁・林業を、施政方針・基本ビジョンで重要視していることが伝わります。しかしながら現実には、一次産業への参入・定着には、個人あるいは小規模の場合、制度的には参入障壁が高いともいえます。</p> <p>例えば農地取得が5反、5000㎡が農地取得の下限面積制限ですが今般、下限面積の引き下げを行う自治体も増えています。さらには「半農半X」という言葉も、長い年月を経て世相の移り変わりも反映し広まり、制度として支援する自治体も出てきています。このような、「農的暮らし」を始めやすい、萩市独自の一次産業の活性化に結び付く支援や制度改革に取り組むことは検討されないか、お尋ねします。</p>		
<p>2. 施政方針・基本ビジョンにあるひとつづくり構想「新しい時代を切り拓く人材育成」について</p>	<p>1. 施政方針にある「グローバル人材」は、地場産業にどのように力を発揮するとお考えでしょうかお尋ねします。</p> <p>グローバル化とは、ある側面では均一化という結果も招いており、近年はグローバルという考え方がリバイバルしています。「萩の産業の将来を担い、活躍できる人材」という一節からしますと、地場産業に則した人材育成が望まれると考えられます。</p> <p>2. 魅力ある高校づくりの支援とありますが、具体的にどのような支援を想定されているのかお尋ねいたします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. イージス・アショア配備計画候補地適地調査の進捗状況と市長の見解について</p>	<p>1. 10月から始まった適地調査が進行しています。水質・水門調査（適地調査前・中）、航空測量調査、地質ボーリング調査、電波環境調査が終了しました。3月末に終了予定の適地調査内容、進捗状況について、以下の点を踏まえて頂いた上での市長の見解を伺います。</p> <p>(1) 年代調査の結果を待たずに、地質調査に進んだことについて</p> <p>(2) 水質調査結果が出ていますが、湧水採水地3地点の内、羽月の名水以外2地点について場所が明記されていません。その2か所は農業用水の溜め池であり、地域の産業・生活基盤です。配備や配備に係る工事は重大な影響が及ぼされることが懸念されます。</p> <p>(3) 見島の航空自衛隊レーダー基地は、0.13km²。むつみ演習場は、1.98km²。いかに巨大な基地かが市民にも想像ができると思います。その規模や基地の機能・性質上、環境アセスメントが必要とも考えられるが、それについては検討されてきていません。</p> <p>(4) 航空自衛隊所有のレーダーによる実測調査が予定されていますが、実際に配備計画されているレーダーとは能力に大きな違いがあります。</p> <p>(5) ミサイルを常時発射できる基地は、日本の歴史上どこにもありません。</p>

質問順位	15	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 非正規職員の雇用の安定と処遇改善を求めて	<p>1. 正規、非正規合計の職員総数と3つの条項の非正規職員数それぞれと非正規の割合の数値は。</p> <p>2. 非正規職員の初任給（時間給換算）、昇給制度、一時金、諸手当、休暇制度、任用などの処遇の現状は。</p> <p>3. 萩市の会計年度任用職員制度設計は非正規職員の処遇改善や任意の適正化を考慮して行われているか。</p>		
2. 放課後児童クラブについて	<p>1. 最近、児童クラブの保護者を対象にアンケートを実施しているが、その目的は。また、アンケートにより、どんな問題点がわかったか。</p> <p>2. 発達障害や、そのグレーゾーンの子どもたちの実態を把握し、適切な対応をしているか。</p> <p>3. 夏休みなど、受け入れる子ども数が増え、長時間の保育になるが、子どもたちが快適に過ごせる対策はとられているか。</p> <p>4. 思いきり体を動かして遊べる場所が、全ての児童クラブで、確保できているか。</p> <p>5. 支援員の資格や配置の最低基準が撤廃され、自治体の裁量に任されるが、子どもたちの生活の質は確保できるのか。</p> <p>6. 支援員たちは、仕事に見合った処遇が行われているか。</p>		
3. イージス・アショアについて	<p>1. 防衛省の陸自対空レーダーを使つての電波環境調査を受け入れたのはなぜか。</p> <p>2. イージス・アショアは相手からの攻撃目標となることを、米議会が公表しているが、萩市が攻撃目標となることをどう受けとめているのか。</p> <p>3. 安倍首相がインタビューで「地元の理解が大切」と口に出しているが、地元の市長としてどう受けとめるのか。</p> <p>4. イージス・アショア撤回を求める阿武町民の会が新たに結成されたが、この動きをどう見るのか。</p>		